

吐いた

赤ちゃんは少しの刺激で吐くことがよくあります。でもひとつでも当てはまったら、救急医療機関を受診しましょう。

- おなかが張っていて、ぐったりしている。
- 吐いたものに赤色や褐色の血液や、緑色の胆汁が混ざっている。
- がまんできないほどの激しい腹痛がある。
- 元気がなく、いつもと様子が違う。
- 下痢が12時間以上続いてぐったりしている。
- 半日以上、おしっこが出ていない。
- くちびるが乾いていて、ぐったりしている。
- 水分がとれない。
- ウトウトしていたり、ちょっとした刺激に敏感になっている。



ひとつでも当てはまりましたか？

はい

大和市救急医療機関を受診しましょう。

いいえ

時間外なら様子を見て、通常の診療時間にかかりつけ医へ。
不安な場合は電話相談を。ただし症状が悪化したら、すぐに救急医療機関を受診しましょう。

◆ 子どもや赤ちゃんが吐いたら、こんな点に注意して！

- ① 吐き気が強いときは無理をさせないようにして、30分から2時間は様子をみましょう。
- ② 吐く間隔が空いてきたら、乳幼児イオン水などをスプーンやスポイトで少しづつ何度も与えましょう。
- ③ 吐いたものを気管に吸い込まないように、寝ているときは体を横に向けましょう。
- ④ 吐いたものの処理はすぐにビニール袋に包み、床にこぼれた場合はすぐに掃除して消毒しましょう。
- ⑤ 吐いたものを始末したら、手をよく洗いましょう。